



地域障害者職業センターの職業準備支援のご案内 発達障害がある方へのサービス

こんな思い…抱えていませんか？

一つの職場で
長続きしない

面接で上手に
PRしたい

職場の人と上手に
付き合えない

合っている仕事が
分からない

ストレスと上手に
付き合いたい

仕事でミスを
繰り返してしまう



自分に合った仕事選びや継続就労を実現するための就労支援カリキュラムを実施しています。

就労支援カリキュラムのイメージ

利用者の目標に合わせて、
様々なプログラムを組み合
わせた個別のカリキュラム
を作成し、実施します。

個別カリキュラムの作成

個別相談 スタッフと定期的に個別カリキュラムの取り組み状況を確認します。

就労支援カリキュラム

各種講習

例

面接の
受け方

履歴書の
書き方

求職活動に役立つ知識を
身につけます。



技能体得講座

対人技能

作業マニュアル
作成

問題解決技能

ストレス対処

社会生活技能や作業遂行力の向上を
目的とした講座を受講します。



カリキュラムで学んだ内容を
企業実習で実践します。

企業体験実習

センター内作業支援

例

清掃

事務

商品
管理

組立
分解

自分に合った作業や
上手なやり方を見つけます。



求職活動支援

ハローワークと協力して企業面接への同行等を行います。

就職後のフォローアップ

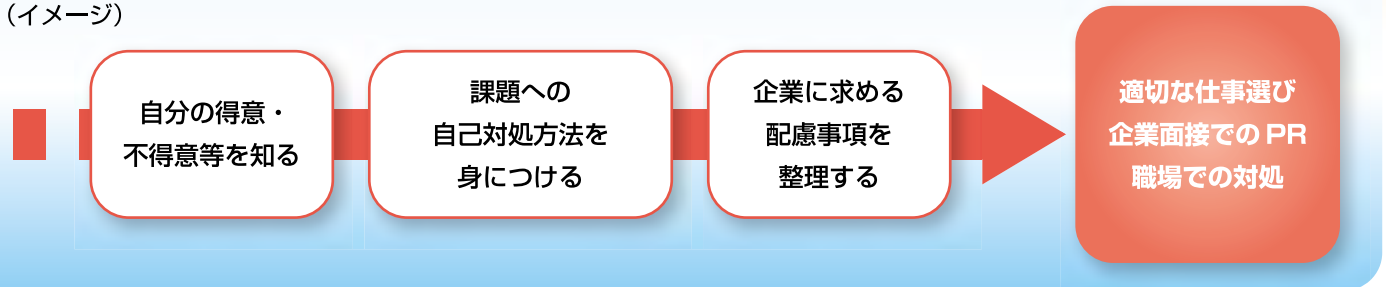


就労支援カリキュラムの特徴

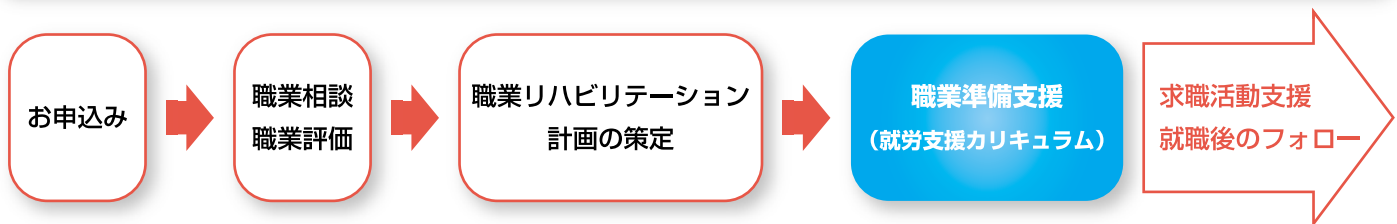
カリキュラムの期間、内容は一人ひとり異なります。*標準12週間程度

「講座」「講習」「相談」「作業」「実習」等の様々な場面を効果的に活用することで
仕事選びや継続就労に具体的に役立つ技能を身につけます。

(イメージ)



就労支援カリキュラムご利用までの流れ



職業相談・職業評価の結果、就労支援カリキュラム以外のサービスや他の支援機関をご案内する場合があります。
当センターのサービスに費用はかかりませんが、交通費・昼食代は自己負担です。工賃や手当の支給はございません。

就労支援カリキュラム利用者の例

<p>適性が分からず、 企業面接で うまく PRできない Aさん</p> 	<p>書類やデータ等の照合は正確で、反復作業は苦にならないと気づきました。 自分の特徴を整理して、自己分析シートを作成したことで、企業面接でのPRがスムーズになりました。</p>	<p>一つの職場で 長続きしていない Bさん</p> 	<p>「指示に集中できず、後で何度も同じ質問してしまう」「うっかりミスをしてしまう」「一方的に話してしまう」等の傾向に気づきました。 「相手の話を聞くこと」「メモの活用」「指さし確認」を意識しています。</p>
<p>仕事に必要な質問、報告等を体験的に学びました。クッション言葉をスムーズに言えるようになり、質問のタイミングにも自信が持てました。 休憩時間の会話は苦手ですが、講座で他の利用者の意見をきき、適度に一人の時間を持つ事も大切だと気づきました。</p>	<p>コミュニケーションに自信がない Cさん</p> 	<p>疲れによるミスを予防するために、適度なペースや休憩の取り方を講座や作業で学びました。 今の職場では、集中した後のリフレッシュとしてストレッチを行っています。</p>	<p>ミスに過敏で、疲労しやすい Dさん</p> 

【職業準備支援の問い合わせ先】 まずは最寄りの地域障害者職業センターへお問い合わせください。

※全国の地域障害者職業センターの所在地及び連絡先は
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の
ホームページ(<http://www.jeed.or.jp/>)で
ご覧いただけます。